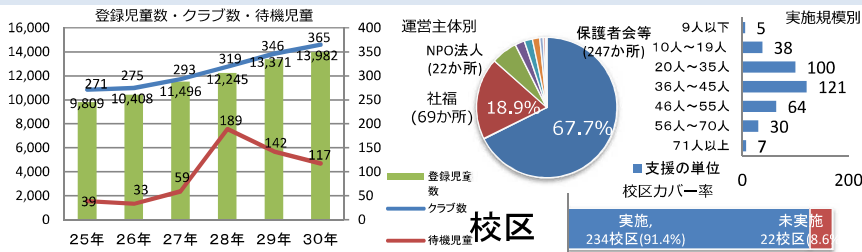


# 放課後児童クラブの量と質の確保支援

## 放課後児童クラブの現状



**全国と同様、県内でもクラブ利用者が年々増加**

- 女性就業率上昇により保育需要の高まりに連動
- H27年度から、対象が小3から小6までに拡大
- H31年から保育無償に伴って、保育需要が高まっている

**県内の放課後児童クラブが置かれている状況**

- 保護者会・運営委員会の運営主体が67.7%を占める
- ほとんどの校区でクラブ実施(234/256校区⇒91%)
- うちクラブの11% (43カ所) が小規模児童クラブ

## 放課後児童クラブの課題

### 量の確保

- 待機児童が117名発生
- 施設整備費の負担が大きく、定員を増やせない
- 小6までの受け入れができないクラブが発生
- 女性就業率が高まることで、今後も利用が増える

### 質の向上

- 保護者会等の運営者の負担が大きい
- 慢性的な人材不足が発生し、支援員が高齢化
- 運営費が低額な小規模児童クラブの運営が困難

**「量」と「質」の両方から、放課後児童クラブを支えていく必要がある！**

## 国の動向

### 放課後子ども総合プラン

放課後児童クラブの量的拡充を図るため、H31年度末までに約122万人分を整備し待機児童解消を目指す

※新・放課後子ども新総合プランでは、H35年度末までにさらに30万人の受皿確保を目標としている

## 現場からの声



### 大分県市長会・福祉事務局長要望

⇒国の補助制度にある項目を拡大してほしい  
⇒19人以下クラブの補助額引き上げ

### 子ども子育て応援県民会議

⇒支援員の雇用環境に問題があると感じる  
⇒今後の運営の仕組みを考えるべき



### 放課後児童クラブ運営者の意見

⇒保護者運営が負担になっている

## 「量」と「質」の確保のための対策

### 受皿拡大のための施設整備補助の充実

現行の施設整備の補助基準額を国並みに引き上げ、受皿拡大の加速化を図る



### 運営費補助の充実と運営主体の強化支援

- 19人以下の小規模放課後児童クラブに対して、運営費加算を行い、クラブ運営の円滑な実施を図る
- 支援員の常勤化を図り、クラブ運営の強化を推進する
- 保護者会や運営委員会が運営主体となっているクラブへ、法人化等の仕組みを情報提供

